

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

教科担当者：（ACG組：渡辺）（BD組：田所）（EFH組：松平）

使用教科書：（東京書籍「現代の国語」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A「水の東西」 【知識及び技能】主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く比較を通じて「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えさせる。	・指導事項 日本と西洋の対比を通して、日本人の感性と日本の文化の特質をつかむ。 ・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く比較を通じて「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	○	○	○	6
	B「技術が道徳を代行するとき」 【知識及び技能】 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使わせる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。	・指導事項 環境問題を例に、科学技術と倫理・道徳の在り方について考える。 ・教材「技術が道徳を代行するとき」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	C「身銭を切るコミュニケーション」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が事例で挙げたコミュニケーションについて理解し、今までの学習を生かしてメタ・コミュニケーションの在り方について考えを深めさせる。	・指導事項 身近な具体例によって、言葉が伝わるためにはどういった努力が必要か考える。 ・教材「身銭を切るコミュニケーション」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が事例で挙げたコミュニケーションについて理解し、今までの学習を生かしてメタ・コミュニケーションの在り方について考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	D「解釈」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。	・指導事項 解釈することが創造であるという視点から、「読むこと」の意味を再考する。 ・教材「解釈」 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1	
2 学 期	E「時間と自由の関係について」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 二項対立の図式にのっとり、具体的な事例から時間に関して考察する。 ・教材「時間と自由の関係について」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	○	○	○	6
	F「映像文化の変貌」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が述べる「イメージ」に慣れすぎることの危険性についての内容理解を深め、学習課題に沿って、映像文化の変貌について本文に即してまとめさせる。	・指導事項 複製技術によって「アウラ」の消失した映像の氾濫する現代の文化の問題点に気付く。 ・教材「映像文化の変貌」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が述べる「イメージ」に慣れすぎることの危険性についての内容理解を深め、学習課題に沿って、映像文化の変貌について本文に即してまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2 学 期	G「真の自立とは」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心をもち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめさせる。	・指導事項 「自立」という言葉を、一般的な意味とは違った視点で定義し直すことで、人間がこの世界に生きるといふことの基本的な意味を明らかにする。 ・教材「真の自立とは」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心をもち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	H「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 人間があたりまえにする行為の背後にある複雑な過程を、人工知能との比較によって浮かび上がらせる。 ・教材「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

